

JAMトピックス

医療関連労組連絡会議を結成！ JAMの魅力UPと政策強化に期待



8月21日、医療関連労組連絡会議が結成された。本来なら直接集まり対面方式で開催すべきではあるが、医療関連労組の集まりであることを考えると、万全の配慮が求められる残念ながらWebでの開催となった。

非専従者が参加しやすいことを念頭に、土曜日開催としたこともあり、15単組25人が参加した。

JAM安河内会長からは、結成に対し「新たな医療関連労組の活動が、JAMの魅力アップと政策強化につながることを期待します」との祝辞が述べられた。

結成会議に先立ち開催された第1回幹事会では、互選により代表幹事にシスメックユニオンの眞鍋智子委員長が選出された。

結成会議における代表幹事の挨拶では、「画一的に会議の形を決めるのではなく、参加者の皆さんと一緒にその場その場で考え、柔軟性のある組織をめざしていきたい」との方向性が示された。

医療関連労組連絡会議立ち上げの意義やこれからの活動の説明が川野副書記長からされ、その後2グループに分かれてのグループディスカッションが行われた。

単組紹介、テレワークの実施状況や現在の課題など、各単組の報告のあと、活発な質問や意見が飛び交い、両グループとも予定していた時間が足りなくなるというハプニングも発生したが、業種特有の課題などについての話もされ、有意義な集まりであることが、実感できた。

グループディスカッション後の全体会議では、今後の活動に向けた意見交換を行い、議論のテーマ、開催方法など、建設的な意見が寄せられた。次回以降の会議運営については幹事労組会議で検討を行う。

医療関連産業の政策提言も必要となることに考慮し、U AゼンセンとJ E C連合で構成されているヘルスケア産業プラットフォームに参画する準備が進められている。

J A M結成20年を経過し、今まで構成してきた15業種別部会と異なる業種も散見される中で、新たな業種の活動体を設置し、他産別との連携による政策実現力の強化は、今後のJ A Mの活動にとって試金石となることを期待したい。

医療関連労組連絡会議幹事

単組名	役職	氏名
シスメックスユニオン	執行委員長	眞鍋 智子 (代表幹事)
	書記長	西口 竜也
J M S 労組	副書記長	森脇 将裕
ニコン労組	中央執行委員	鳥取 潤一郎
日本製鋼所室蘭労組	組合長	高野 聖久
横河電機労組	副執行委員長	今井 恵二